

－ 女性の美しさを作る“成分”についての意識調査結果 －

(「成分」とは内面・外面を含めた女性の美しさを作る“要素”という意味)

**自分の美しさを作っている“成分”は「ストレスをためないこと」。
2年続くコロナ禍で意識が変化、昨年2位から今年はトップに !!**

- 各年代とも「ストレスをためないこと」が約 6 割でトップ。
- 昨年 6 位の「スキンケア」が今年は 4 位。自宅時間の増加でスキンケアへの意識も進む。

美容成分の開発・製造・販売と、オリジナル通販化粧品ブランド「デルメッド」を展開する三省（さんしょう）製薬株式会社（本社：福岡県大野城市 代表取締役社長：陣内宏行）では、2021年7月に20～60代の女性、計520人を対象に、「女性の美しさを作る“成分”についての意識調査」を実施しました。

当社では昨年5月にも同内容の調査を実施しており、今年はコロナ禍で2年目を迎えた生活の中での調査となりました。

* “美しさ”とは、外見・内面を含めた広い意味で捉え、“成分”とは、女性の“美しさ”を構成する“要素”と捉えています。

*

調査結果をみると、**自分の“美しさ”を作っている“成分”**は、昨年2位の「ストレスをためないこと」が今年は1位となりました。年代別にみても、20代（59.6%）、30代（62.5%）、40代（66.3%）、50代（58.7%）、60代（65.4%）と各年代とも「ストレスをためないこと」が1位でした。コロナ禍での生活が2年続いていることで、どの世代もストレスを感じているようです。

今年の2位以下は「睡眠」、「おいしい物を食べる」、「スキンケア」、「健康」と続きました。「スキンケア」は昨年6位でしたが、今年は8.8ポイント増え4位に順位を上げました。自宅時間の増加で、スキンケアに気を配る人も増えたようです。

他の年代と比較して違いが出た特徴をみると、20代は「恋愛」、30代は「家族」、40代以降は自分の「健康」が“美しさ”を作る“成分”だと考える傾向も見られました。

また、**自分の美しさを作っている“成分”の数**は、平均「10」種類。昨年の「13」種類に比べると微減となりました。その“成分”のこだわりとしては、「自分らしく」、「無理せず」、「楽しめる」ことが大切だと考えているようです。また、その“成分”への満足度は100点満点で平均「57点」で、昨年の「59点」から微減となりました。

今後取り入れたい“成分”としては昨年3位の「健康」が今年はトップとなりました。2位以下は「姿勢」、「感謝の気持ち」、「ストレッチなど軽い運動」、「優しさ・思いやり」の順でした。「感謝の気持ち」は昨年4位でしたが今年は3位に順位を上げました。これも、コロナ禍が続くことによる意識の変化の表れかもしれません。

< 調査概要 >

- ・調査方法 インターネット調査
- ・対象 20代～60代女性
- ・居住地域 東京都、愛知県、大阪府、福岡県
- ・有効サンプル数 520サンプル（20代～60代、各104サンプル）

***三省製薬（株）について**

当社は1960年に、プラセンタエキスを配合したシミ治療の外用剤開発を目的とし、「いつまでも若々しく美しくありたいという、人類の根源的欲求に応え、社会に貢献する」を創業理念としてスタートしました。その後、1988年に「コウジ酸」で医薬部外品の美白有効成分の承認を第1号で取得、美白ブームのパイオニアとして実績を積み重ね、これまでに約130種類の美容成分を開発してきました。

現在は、「よりよい成分、よりよい化粧品 4.1」をコンセプトに掲げ、美容成分の開発から各種試験、化粧品の製造まで一貫して手掛ける技術力を強みに、新たなステージに挑戦しています。

2021年3月には「デルメッド ものづくり宣言」を発表し、エコ、エシカル、サステナブル、ダイバーシティの考えを取り入れたものづくりへの取り組みをスタート。7月には当社初の実店舗として「デルメッド ショールーム」を福岡市にオープンしました。当社の基幹ブランド「デルメッド」製品を体感していただくとともに、お客様とのコミュニケーションを推進する場として展開しています。

以下、詳細です。

※“美しさ”とは、外見・内面を含めた広い意味で捉えています。

※“成分”とは、女性の“美しさ”を構成する“要素”と捉えています。

- 自分の“美しさ”を作っている“成分”の数は平均で「10種類」。
- 自分の“美しさ”を作っている“成分”の1位は「ストレスをためないこと」。昨年2位から順位を上げる。
- 昨年6位の「スキンケア」が今年は8.8ポイント増え、4位に浮上。

自分の“美しさ”を作っている“成分”は何種類くらいだと思うかを尋ねてみると、全体の平均は「10種類」となりました。昨年の平均「13種類」と比べると今年は減少しました。

年代別にみると、最も多かったのは20代と40代で「12種類」。次いで、30代と50代が「9種類」、60代は「8種類」の順でした。

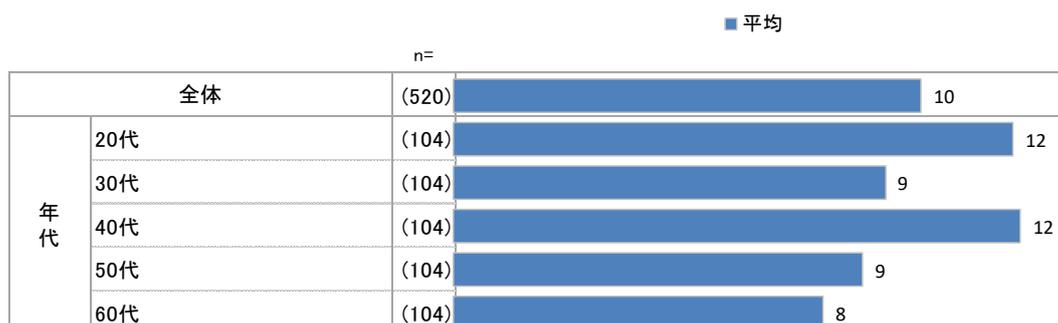
自分の“美しさ”を作っている具体的な“成分”の1位は「ストレスをためないこと」（62.5%）、2位は「睡眠」（59.6%）、3位は「おいしい物を食べること」（47.1%）、4位は「スキンケア」（37.3%）、5位は「健康でいること」（31.2%）となりました。

昨年2位だった「ストレスをためないこと」が今年は1位となりました。年代別にみても、各年代とも「ストレスをためないこと」がトップでした（20代59.6%、30代62.5%、40代66.3%、50代58.7%、60代65.4%）。

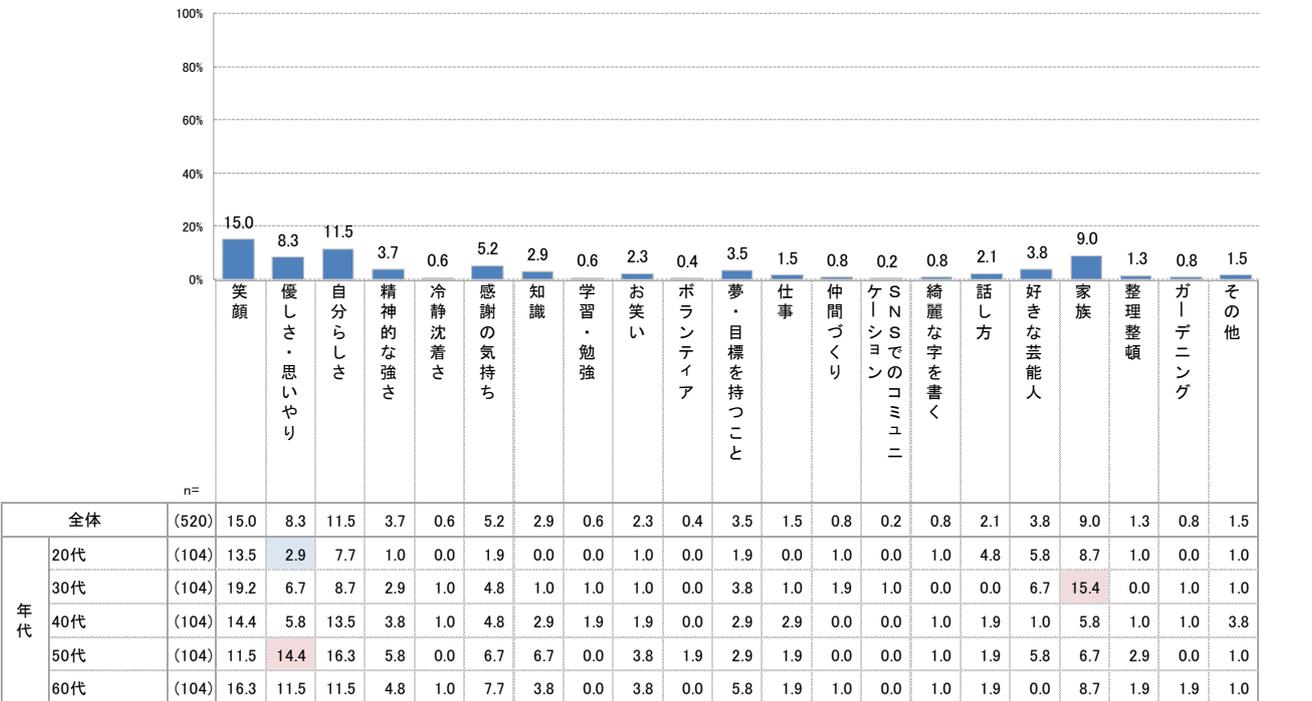
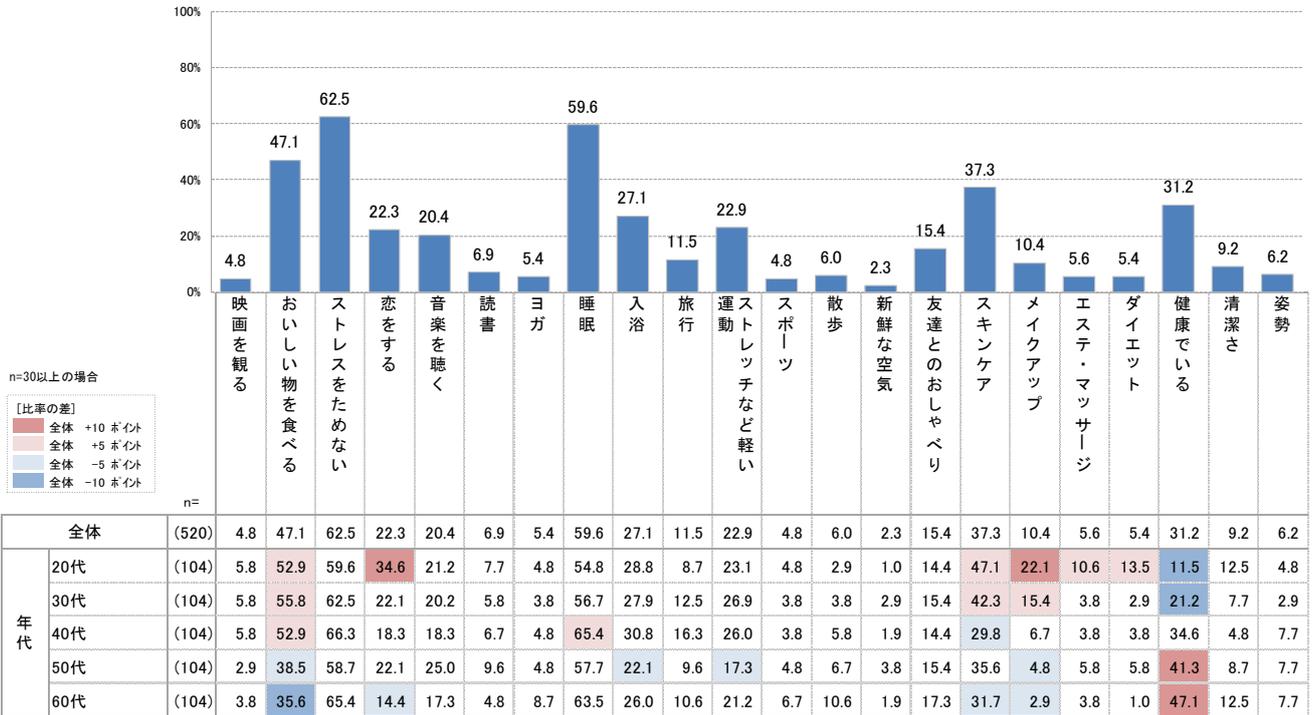
また、昨年6位の「スキンケア」が今年は8.8ポイント増え、4位にランクを上げました。コロナ禍で「ストレス」を意識する人が増えた一方、自宅時間の増加で「スキンケア」に気を配る人も増えたようです。

他の年代と比較して特徴が出ている点を見ると、20代は「恋をする」（34.6%）と「スキンケア」（47.1%）が、30代は「スキンケア」（42.3%）が高くなりました。30代は、昨年は「恋をする」も高かったのですが今年は8.7ポイント減少し22.1%にとどまる一方、今年は「家族」（15.4%）が昨年比7.7ポイント増えました。40代以降は「健康でいる」を挙げる人が増える傾向となりました。

■自分の“美しさ”を作っている“成分”は全部で何種類くらいだと思いますか？（自由回答）



■自分の“美しさ”を作っている“成分”は何だと思いますか？(5つ選択)

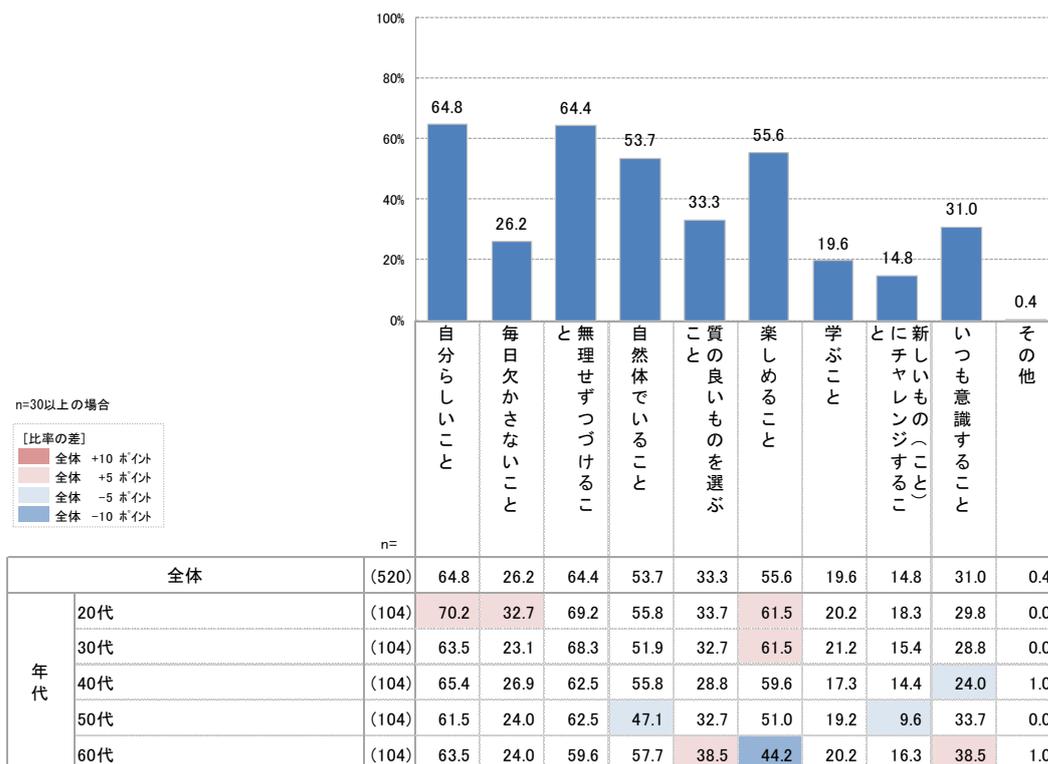


- 自分の“美しさ”を作っている“成分”のこだわりベスト3は、「自分らしいこと」、「無理せず続けること」、「楽しめること」。
- 自分の“美しさ”を作っている“成分”への満足度は「57点」。年代別では60代の「60点」が最も高い！

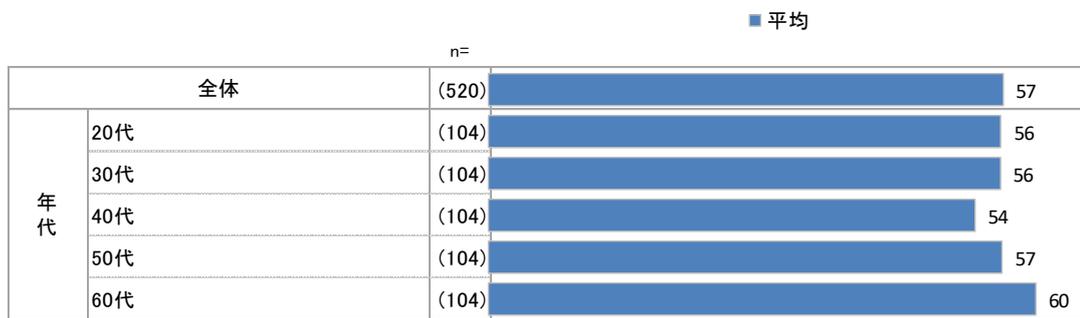
自分の“美しさ”を作っている“成分”のこだわりを尋ねると、トップは「自分らしいこと」（64.8%）でした。以下、「無理せず続けること」（64.4%）、「楽しめること」（55.6%）、「自然体でいること」（53.7%）と続きました。年代別で見ると、20代、40代、60代は「自分らしいこと」、30代と50代は「無理せず続けること」がトップでした。

また、自分の“美しさ”を作っている“成分”への満足度を100点満点で聞いてみたところ、全体の平均は「57点」で、昨年の「59点」と比べると微減となりました。今年、年代別で最も平均点が高いのは60代の「60点」、最も低いのは40代で「54点」で、大きな点数の開きは見られませんでした。

■自分の“美しさ”を作っている“成分”のこだわりは何ですか？（複数回答）



■自分の“美しさ”を作っている“成分”について、どのくらい満足していますか？100点満点でお答えください。



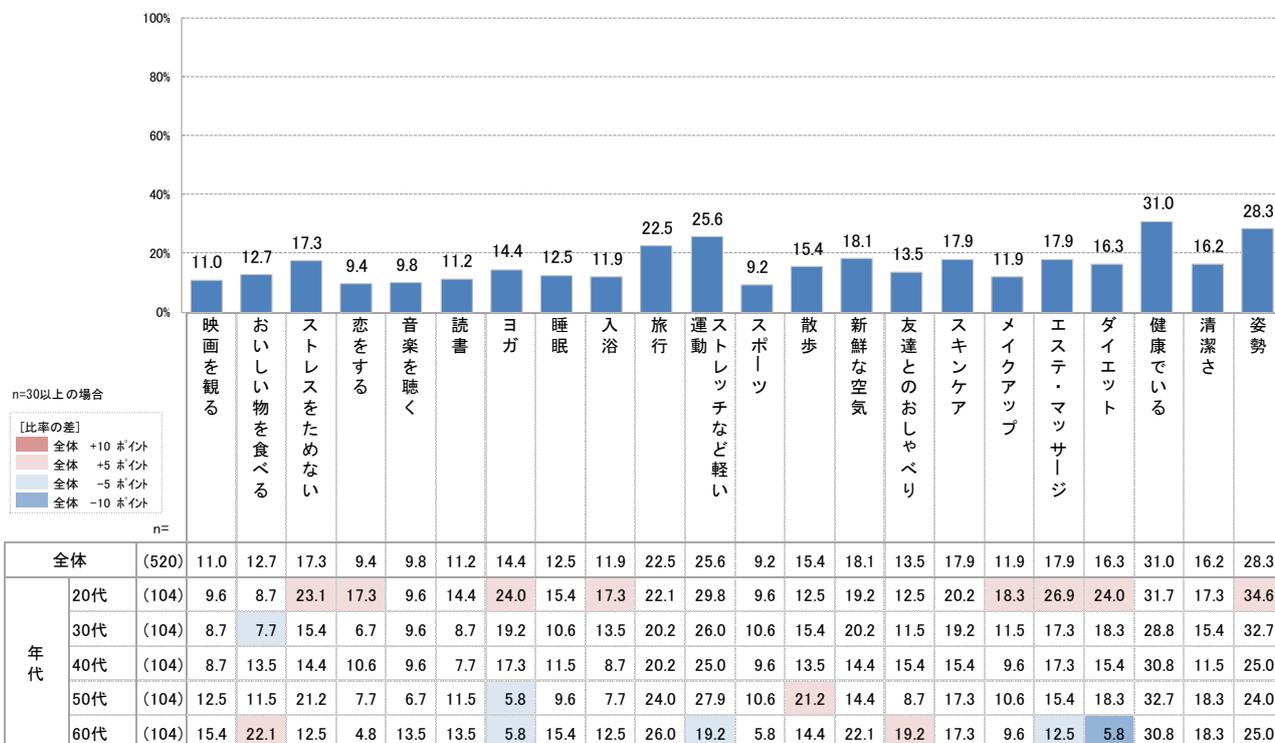
- 今後、新しく取り入れたいと考える“成分”ベスト 5 は、「健康でいること」、「姿勢」、「感謝の気持ち」、「ストレッチなど軽い運動」、「優しさ・思いやり」!
- 20代は「エステ・マッサージ」、「知識」、「ダイエット」、「ヨガ」など幅広い成分を取り入れたいと考えている!

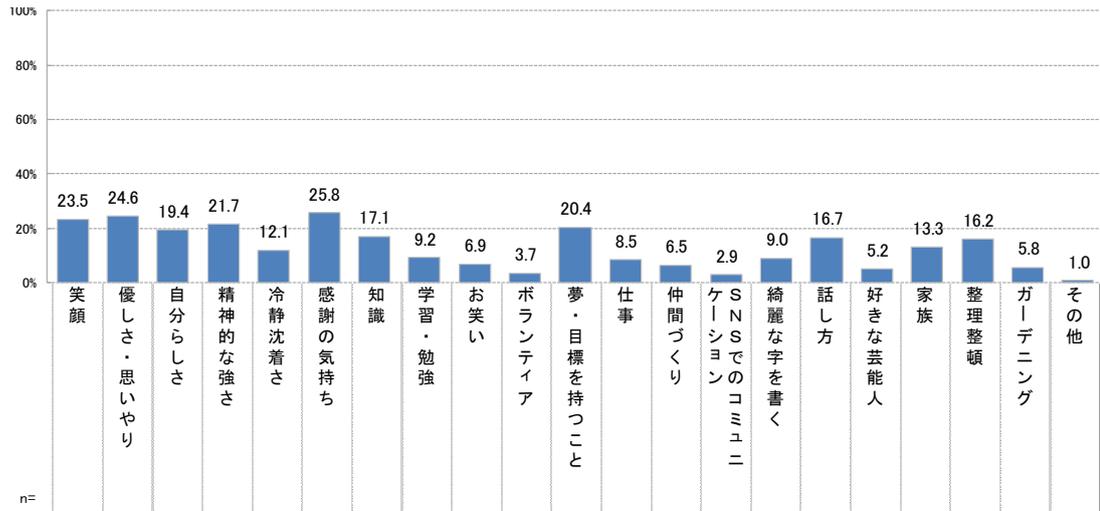
今後、新しく取り入れたいと考える“成分”は、1位「健康でいる」(31.0%)、2位「姿勢」(28.3%)、3位「感謝の気持ち」(25.8%)、4位「ストレッチなど軽い運動」(25.6%)、5位「優しさ・思いやり」(24.6%)の順でした。

昨年と比べると、ベスト5に入った項目は同じですが、昨年3位の「健康でいる」が今年は1位となり、昨年4位の「感謝の気持ち」が今年は3位に順位を上げました。コロナ禍が続き、「健康」と「感謝の気持ち」を重視する傾向が強くなったのかもしれません。

年代別に特徴が出ている点を見ると、20代は「エステ・マッサージ」(26.9%)、「知識」(26.0%)、「ダイエット」(24.0%)、「ヨガ」(24.0%)を挙げた人が多くなっていました。30代は「話し方」(23.1%)、40代は「感謝の気持ち」(30.8%)、50代は「散歩」(21.2%)、60代は「おいしい物を食べる」(22.1%)を重視する傾向となりました。

■今後、新しく取り入れたいと思う“成分”は何ですか?(複数回答)





全体		(520)	23.5	24.6	19.4	21.7	12.1	25.8	17.1	9.2	6.9	3.7	20.4	8.5	6.5	2.9	9.0	16.7	5.2	13.3	16.2	5.8	1.0
年代	20代	(104)	25.0	25.0	16.3	24.0	10.6	22.1	26.0	14.4	5.8	2.9	24.0	15.4	7.7	7.7	14.4	12.5	4.8	7.7	19.2	7.7	0.0
	30代	(104)	22.1	27.9	15.4	20.2	15.4	19.2	16.3	9.6	4.8	1.9	11.5	7.7	5.8	3.8	11.5	23.1	2.9	13.5	16.3	3.8	1.0
	40代	(104)	19.2	19.2	21.2	20.2	8.7	30.8	14.4	7.7	5.8	2.9	21.2	9.6	9.6	1.9	4.8	13.5	6.7	13.5	17.3	3.8	1.0
	50代	(104)	24.0	23.1	23.1	25.0	13.5	28.8	11.5	6.7	7.7	2.9	21.2	2.9	2.9	0.0	8.7	14.4	5.8	13.5	14.4	4.8	1.9
	60代	(104)	26.9	27.9	21.2	19.2	12.5	27.9	17.3	7.7	10.6	7.7	24.0	6.7	6.7	1.0	5.8	20.2	5.8	18.3	13.5	8.7	1.0

三省製薬株式会社 会社概要

■社名	三省製薬株式会社 (Sansho Pharmaceutical Co.,Ltd.)
■創業	1960年3月
■代表取締役社長	陣内 宏行
■資本金	8,767万円
■売上高	25億9,600万円(2021年3月期現在)
■事業所	<本社> 〒816-8550 福岡県大野城市大池2丁目26番7号 <東京オフィス> 〒107-6218 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウンタワー18F ワークスタイリング内 <佐賀工場> (化粧品原料製造および化粧品製造業者としてCOSMOS認証取得工場) 〒841-0048 佐賀県鳥栖市藤木町5番1
■事業内容	化粧品原料の開発、製造、販売 医薬部外品・化粧品の開発、製造、販売(通信販売・OEM)
■社員数	120人(パート社員含む)
■URL	https://www.sansho-pharma.com/ https://www.dermed.jp